

ファイルフォーマット(アップロード・ダウンロード)

➤ アップロード・ダウンロードファイル一覧

各取引において提供する送受信ファイルの一覧は以下の通りです。

No	ファイル名	形式	文字コード	送受信区分
	デフォルトファイル名 ※1			
1	開示結果ファイル	CSV	Shift_JIS	受信
	“kji” + YYYYMMDDHHMMSS + “.csv”			
2	開示結果ファイル	固定長	JIS	受信
	“kji” + YYYYMMDDHHMMSS + “.txt”			
3	一括記録請求ファイル	固定長	JIS/ EBCDIC ※2	送信 受信
	アップロード時:ファイル名は任意 ダウンロード時:“iks” + YYYYMMDDHHMMSS + “.txt”			
4	一括記録請求結果ファイル	固定長	JIS	受信
	“ikk” + YYYYMMDDHHMMSS + “.txt”			
5	操作履歴ファイル(企業向けユーザ)	CSV	Shift_JIS	受信
	“srk” + YYYYMMDDHHMMSS + “.csv”			
6	共通フォーマット・配信 1 形式ファイル	固定長	JIS/ EBCDIC	受信
	“kyf” + YYYYMMDDHHMMSSSSSS + “.txt”			
7	取引先情報登録ファイル(総合振込形式)	固定長	JIS/ EBCDIC	送信
	ファイル名は任意			
8	取引先情報登録ファイル(CSV 形式)※3	CSV	Shift_JIS	送信 受信
	アップロード時:ファイル名は任意 ダウンロード時:“tsc” + YYYYMMDDHHMMSSSSSS + “.csv”			
9	取引先情報登録結果ファイル※3	CSV	Shift_JIS	受信
	“tsk” + YYYYMMDDHHMMSSSSSS + “.csv”			
10	受取債権情報ファイル	CSV	Shift_JIS	受信
	“uts” + YYYYMMDDHHMMSSSSSS + “.csv”			
11	入金予定情報ファイル	CSV	Shift_JIS	受信
	“nky” + YYYYMMDDHHMMSS + “.csv”			
12	支払予定情報ファイル	CSV	Shift_JIS	受信
	“shy” + YYYYMMDDHHMMSS + “.csv”			

① ご注意事項

※1 : デフォルトファイル名の YYYYMMDDHHMMSS は年月日時分秒を表す。

YYYYMMDDHHMMSSSSSS は年月日時分秒+ミリ秒を表す。

※2 : アップロードしたファイルをダウンロードする場合は、アップロードした際の文字コードとなります。

テキスト固定長ファイル概要

➤ 固定長テキストファイル・フォーマット一覧

固定長テキストファイルのレコード長およびフォーマットは以下の通りです。

項番	ファイル	レコード長 (byte)	でんさいネット標準フォーマット (固定長テキスト形式) 1. 2 版
1	一括記録請求ファイル	250	集信1 (※1 送信 C→D)
2	一括記録請求結果ファイル	300	配信1 (※1 受信 C←D)
3	開示結果ファイル	300	配信2 (※1 受信 C←D)
4	共通フォーマット・配信1形式ファイル	300	配信1 (※1 受信 C←D)
5	取引先情報登録ファイル(総合振込形式)	120	—

※1: C…企業ユーザ D…《電子記録債権取引システム》

送受信区分は企業ユーザ主体で表記

➤ ファイル形式

1. 文字コード

文字は1バイト文字を使用します。文字コード区分と対応する文字コードは以下の通りです。

項番	文字コード区分	文字コード
1	JIS	JIS X 0201
2	EBCDIC	EBCDIC

2. 改行コード

・アップロード時: 以下の改行コードが設定されている場合は、アップロード時に改行コードを削除します。

JISコード使用時 : CR、LF、CR+LF

EBCDICコード使用時: NEL

・ダウンロード時: 改行コードは設定されません。※

なお、改行コードを付与してアップロードしたでんさいネット標準フォーマットのファイルをダウンロードする場合、受付時に改行コードを削除するため、改行コード設定なしの状態でのダウンロードとなります。

※例外として、受取債権の確認、入金予定の確認、支払予定の確認のファイル作成画面にて改行コード「有」を選択した場合、ファイルダウンロード時に以下の改行コードを設定します。

文字コードに JIS を選択した場合 : CR+LF

文字コードに EBCDIC を選択した場合: NEL

➤ 固定長テキストファイル・レコード構成

固定長テキストファイル・レコード構成の概要および構成例は以下の通りです。

集信 1	マルチヘッダを認めています。また、同一ファイルに複数の請求種別を含めることが可能です。エンドレコードは1ファイルにつき1レコードが最後に付与します。レコードの構成はでんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版に準拠しています。 なお、サブファイルが複数となっても、ヘッダ部の請求口座は、1口座（同一口座）で設定する必要があります。 参考例 1 ヘッダR データR トレーラR エンドR 参考例 2 ヘッダR データR データR トレーラR エンドR データレコードの繰り返しは「1回以上」 ヘッダR+データR+トレーラRの複数の組み合わせが可能。
配信 1	マルチヘッダを認めています。エンドレコードは1ファイルにつき1レコードが最後に付与します。レコードの構成はでんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1に準拠しています。 参考例 1 ヘッダR データR トレーラR エンドR 参考例 2 ヘッダR データR データR トレーラR エンドR データレコードの繰り返しは「1回以上」 ヘッダR+データR+トレーラRの複数の組み合わせが可能。
配信 2	マルチヘッダは認めていません。レコードの構成はでんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信2に準拠しています。 参考例 1 データR（債権情報）1件目に保証人情報なし。 ヘッダR データR (債権情報) データR (債権情報) トレーラR エンドR 参考例 2 データR（債権情報）1件目に保証人5名分のデータがある場合。 ヘッダR データR (債権情報) データR (保証人) 3名分 データR (保証人) 2名分 データR (債権情報) トレーラR エンドR

➤ レコード上限数

《電子記録債権取引システム》よりダウンロードする固定長テキストファイルのうち、レコード上限数の制限を設けているダウンロードファイルは以下の通りです。

件数のカウント対象となるレコードは、繰り返し項目となるデータ部を指します。(ヘッダ、トレーラ、エンドはカウント対象外)

上限を超えた場合、超えた旨のメッセージを出力し、ファイルダウンロードをすることはできませんが、抽出条件を変更して対象レコードを絞り、複数回に分けてダウンロードを行うことが可能です。

ダウンロードファイルでは、以下に示すファイル以外は上限を設けていません。

アップロードファイルについては、付録の各種ファイルのチェック仕様をご確認ください。

項番	ファイル名	レコード上限数
1	共通フォーマット・配信1形式ファイル	5,000件

CSV可変長ファイル概要

➤ ファイル形式

《電子記録債権取引システム》にて利用するCSVファイルは、可変長ファイルです。

文字コードについては、Shift_JIS を使用します。

1. 共通形式

- ・CSV可変長ファイルは原則 1 つ以上のレコードから構成します。
- ・開示結果ファイルについては、でんさいネットからの情報をそのまま提供するため、対象結果が0件の場合でも0件データをダウンロード可能とします。
- ・その他のファイルについては、オペレーションの削減のため、0件データのダウンロードは不可とします。
- ・レコードは改行コードで区切ります。

以下にアップロード時、ダウンロード時に使用可能な改行コードを示します。

アップロード時: CR+LF

ダウンロード時: CR+LF

ただし、取引先情報登録ファイル(CSV形式)については、アップロード時に CR、LF も使用可能とします。

- ・アップロード時、最終レコードには、改行コードのみのレコードは作成しません。
- ・アップロード時、最終レコードに改行コードが存在しない場合でもアップロードを可能とします。
- ・ダウンロード時、最終レコードには改行コードを付与します。
- ・各レコードはフィールドで構成します。
- ・フィールドはカンマ【,】で区切ります。カンマ【,】の数に過不足がある場合はエラーとなります。
- ・各フィールドはダブルクォーテーション【"】で囲みます。

ダブルクォーテーション【"】の数に過不足がある場合はエラーとなります。

ただし、取引先情報登録ファイル(CSV形式)については、ダブルクォーテーション【"】で囲まない形式も許容します。(注1～3)

- ・フィールドに値を設定しない場合は、ダブルクォーテーション【"】を連続して設定します。
- ・アップロードファイルについて、EOF(0x1A)は許容しません。

① ご注意事項

(注1)取引先情報登録ファイル(CSV形式)においては、以下の設定例②の形式も正常とします。

設定例①:本来の指定方法 ⇒ "aaa","bbb","ccc"

設定例②:ダブルクォーテーション【"】で囲まない形式 ⇒ aaa,bbb,ccc

(注2)項目にカンマ【,】を指定する場合はダブルクォーテーション【"】で囲む必要があります。

「b,b」を指定したい場合の例を以下に示します。

設定例①:本来の指定方法 ⇒ "aaa","b,b","ccc" ○(正常)

設定例②:カンマを含む項目のみをダブルクォーテーション【"】で囲む方法

⇒ aaa,"b,b",ccc ○(正常)

設定例③:ダブルクォーテーション【"】で囲まない形式

⇒ aaa,b,b,ccc ×(カンマを区切り文字と認識するためエラー)

(注3)項目にダブルクォーテーション【"】を指定する場合は、ダブルクォーテーション【"】を連続して指定する必要があります。

「b"b」を指定したい場合の例を以下に示します。

設定例①:本来の指定方法 ⇒ "aaa","b""b","ccc" ○(正常)

設定例②:ダブルクォーテーションを含む項目のみをダブルクォーテーション【"】で

囲む方法 ⇒ aaa,"b""b",ccc ○(正常)

設定例③:ダブルクォーテーション【"】で囲まない形式 ⇒ aaa,b"b,ccc ○(正常)

設定例④:本来の指定方法でダブルクォーテーションを連続しない形式

⇒ "aaa","b"b","ccc" ×(ダブルクォーテーションが連続していないためエラー)

2. 個別形式

<項目名ヘッダ>

- ・各フィールド名称を設定するレコードです。
- ・ファイルの構造を加味することで可読性を考慮した設定とします。ただし、可読性を損なうものについては設定しません。
- ・ヘッダ行の設定はダウンロード時のみ設定するものとし、アップロード時は設定しないものとします。

<検索条件>

- ・ユーザが画面上で検索を行った際の、検索条件の値です。
複雑な検索条件や、選択肢が多岐にわたる等、オペレーションミスを起こしやすい業務については、ファイル中に本項目を設定しますが、検索結果画面で検索条件を確認できることから、原則設定しません。

➤ レコード上限数

《電子記録債権取引システム》よりダウンロードするCSVファイルについて、レコード上限数を設けています。
レコードは繰り返し項目となるデータ部のことを指します。(ヘッダ、トレーラ、エンドはカウント対象外)
上限を超えた場合、超えた旨のメッセージを出力し、ファイルダウンロードをすることはできませんが、抽出条件を変更して対象レコードを絞り、複数回に分けてダウンロードを行うことが可能です。
制限を設けているダウンロードファイルは以下の通りです。
ダウンロードファイルでは、下記に示すファイル以外は上限を設けていません。

項番	ファイル名	レコード上限数
1	操作履歴ファイル(企業向けユーザ)	2,400件